

議事1 鉄道助成業務の実施状況に関する事項 (審議事項)

- ・令和6年度 補助金審査の概況
- ・令和6年度 補助金審査の実施状況(個別案件)
(地下高速鉄道整備事業費補助(東京地下鉄株式会社))

1. 補助金交付(勘定間繰入)決定及び額の確定等の状況

- 令和6年度の交付(繰入)決定については、合計60件の補助申請の審査を行い、交付(繰入)申請どおり総額約1,025億円を決定した。
- 令和6年度の額の確定に係る補助金審査については、合計67件の審査(このうち現地審査は66件)により、約968億円の額の確定を実施した。

2. 補助金審査の状況

(1) 現地審査業務の実施状況

- 全ての補助金審査案件において現地審査の前にオンライン会議を実施し、事前の整理を十分に行うことで現地審査の効率化・深度化を図り、事後整理にかかる時間を短縮した。
- 令和4年度までは新型コロナウイルス感染症対策として継続事業の現場調査を一部控えていたが、令和5年度以降においては原則として全事業で実施。

○ 実施時期別の現地審査業務実績(審査要員数×日数)

実施時期	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
～10月	40	0	12	38	41
11月	58	8	0	25	34
12月	104	38	49	34	29
1月	0	56	97	79	83
2月	0	88	102	133	138
3月	14	41	35	40	52
合計	216	231	295	349	377

(2) 現地審査実施上の主なポイント

① 重点審査項目への対応等

補助金審査計画において設定された重点審査項目に沿った現地審査によって、各審査員の審査の視点が共通化され、効果的な審査が実施できた。

令和6年度 重点審査項目	確認した事象	対応
【1】補助対象範囲	<補助対象外費用の計上> 補助対象・補助対象外の両方に起因する設備の増強費用について、全額が補助対象となっていた。	補助対象外の相当分を控除
【2】契約・発注方法	<特命随意契約方式とする理由の未整理> 特命随意契約方式にて発注していたが、その方式を採用した理由の整理がなされていない状態となっていた。	特命随意契約理由書の整理を指導
【3】各種基準との適合	<積算の誤り> 指針に則り特許料を積算に計上していたが、特許の存続期間が満了となり消滅していた(過大積算)。	積算の修正を指導



令和7年度
重点審査項目
※

② 抽出審査の実施状況

審査に要する日数・人数の確保が困難な場合に限り行うことのできる抽出審査は、第三者委員会です承頂いた抽出方針を踏まえ、それぞれの事業ごとに最低20件以上を抽出し、かつ抽出した審査金額が補助対象事業費の最低1/4以上とする目標を達成した。

※詳細はP.22

地下高速鉄道整備事業費補助

銀座線浅草駅の折り返し線整備事業 (駅施設の大規模改良)

目 次

1. 補助制度の概要(地下高速鉄道整備事業費補助)
2. 補助事業の概要(東京地下鉄銀座線浅草駅折り返し線整備事業)
3. 補助金審査の実施状況(東京地下鉄)
4. 補助金審査の結果(東京地下鉄)

1. 補助制度の概要(地下高速鉄道整備事業費補助)

(1) 制度の概要

大都市及びその周辺において通勤・通学輸送を目的として、主として地下に建設される鉄道の整備を促進するため、その整備を行う地方公共団体等の事業者に対して、建設費及び大規模改良工事費等の一部を補助する。

(2) 制度の内容

○ 補助対象事業者

・公営地下鉄事業者

(札幌市、仙台市、東京都、横浜市、名古屋市、京都市、神戸市、福岡市)

・東京地下鉄株)、関西高速鉄道株)

○ 補助対象

新線建設、耐震対策工事、浸水対策工事及び駅施設の大規模改良工事(駅のバリアフリー化、可動式ホーム柵設置、列車遅延対策)に係る費用
※地方公共団体も同様の補助を実施。

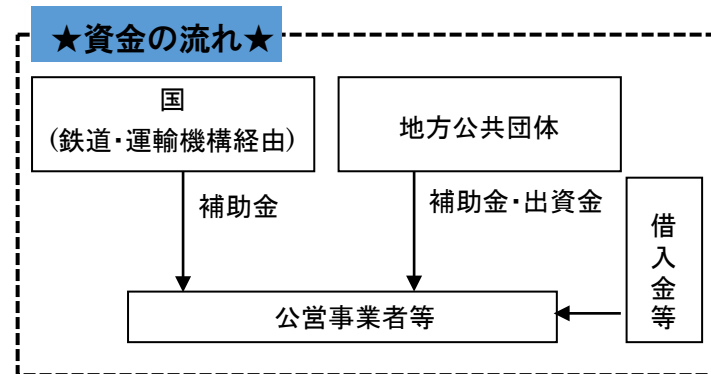
○ 補助率: 補助対象建設費※の35%以内(地方公共団体の補助金額の範囲内)

※(建設費－総係費－車両費－建設利子)×1.02×0.8×0.9

○ 予算額の推移(当初予算ベース)

単位: 百万円

年度	R3	R4	R5	R6	R7
予算額	4,905	4,473	8,050	13,864	15,264



令和6年度 補助金審査の実施状況(個別案件)



1. 補助制度の概要(地下高速鉄道整備事業費補助)

○新線建設

- ・東京地下鉄南北線
及び有楽町線の延伸
- ・なにわ筋線整備
など、新線建設を推進。



新線建設

○耐震補強

地下鉄利用者の安全確保のため、駅・高架橋等の耐震対策工事を推進。



高架橋の耐震対策

○浸水対策

- ・浸水被害が想定される地下駅等(出入口、トンネル等)について、止水板や防水ゲート等による浸水対策を推進。



止水板



防水扉



防水ゲート

○駅施設の大規模改良

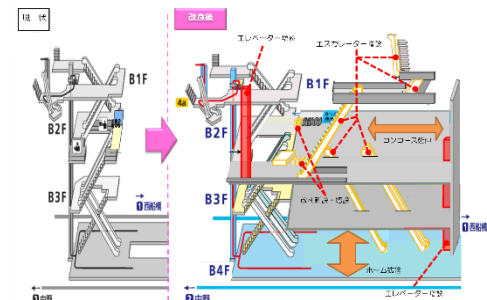
- ・エレベーター等の整備によりバリアフリー化を推進。
- ・接触転落事故等に対応するため、可動式ホーム柵の設置を推進。
- ・平面交差箇所の立体交差化、ホーム・コンコースの拡充等により列車運行の円滑化を図る。



バリアフリー化



可動式ホーム柵の設置



列車運行円滑化

2. 補助事業の概要(東京地下鉄銀座線浅草駅折り返し線整備事業)

東京地下鉄株式会社
銀座線浅草駅の折り返し線整備事業
(駅施設の大規模改良)

別冊参照

3. 補助金審査の実施状況(東京地下鉄)

令和6年度の東京地下鉄(株)に対する補助金審査では、
下記の2件の申請に対する審査を実施。

令和5年度地下高速鉄道整備事業費補助

令和5年4月11日 交付決定(464, 000, 000円)

令和6年2月21日 変更決定(502, 000, 000円)

令和5年度 補正予算による
追加配賦(38百万円)

令和6年度地下高速鉄道整備事業費補助

令和6年4月17日 交付決定(2, 335, 000, 000円)

※銀座線浅草駅折り返し線整備事業について、令和5年度の補助金交付はなし。
(東京地下鉄(株)の自己負担で実施)

※東京地下鉄(株)における、地下高速鉄道整備事業としては、当該事業の他に、
新線建設事業(7号線、8号線延伸)、浸水対策事業、大規模改良事業(茅場町駅)を実施

3. 補助金審査の実施状況(東京地下鉄)

事業概要ヒアリング(オンライン)

【令和6年12月2日(月)】

15:30-16:30 事業概要説明

※ヒアリング終了後、本審査までの間、
適宜、**審査事前照会**を実施

本審査(現地)

【令和7年2月5日】 ※当該事業を審査
10:00-12:00 概要説明・書類審査
13:00-17:00 書類審査

【令和7年2月6日】
10:00-12:00 現場調査
(7号線延伸事業)
13:00-17:00 書類審査

【令和7年2月7日】
10:00-12:00 書類審査
13:00-16:30 書類審査・講評

現地審査の前に**オンライン会議**を実施し、事前の整理を十分に行うことで**本審査**の効率化・深度化を図り、事後整理にかかる時間を短縮した。

3. 補助金審査の実施状況(東京地下鉄)

審査のポイント

- 事業内容が補助目的に沿ったものであるか
- 補助事業の遂行上、必要なものであるか
- 補助事業としての手続きの正確性、合規性
- 補助事業内容の経済性、効率性、有効性



(※他事業の補助金審査画像のため参考)

3. 補助金審査の実施状況(東京地下鉄)

確認項目

- | | |
|--------------|----------------|
| ① 工事内容の確認 | ⑥ 発生品の処理に関する確認 |
| ② 契約方法 | ⑦ 委託工事の確認 |
| ③ 契約内容 | ⑧ 直営工事に関する確認 |
| ④ 工事施工に関する確認 | ⑨ 支払に関する確認 |
| ⑤ 工事完了に関する確認 | |

書類調書様式(抜粋)

①②③④⑦⑧ 契約内容									
審査番号	契約件名 (契約の相手方)	② 予定価格	② 積算方式 支給品有無	③ 契約年月日 (変更後)	④⑤ 完了予定 年月日 (変更後)	③ 契約金額 下段:(消費税込額)	うち補助対象外 下段:(消費税込額)	④⑤ 検収年月日	
		② 契約方式							
支払状況 ⑨				補助対象経費		⑥ 備考			
支払年月日 (見込)		支払区分	支払(見込)額 下段:(消費税込額)	うち補助対象外 下段:(消費税込額)		費目			

4. 補助金審査の結果(東京地下鉄)

結果

○補助事業の成果が補助金の交付の目的に適合していた

○補助事業の内容についても査定に値する事実はなかった

令和5年度予算

令和7年4月 9日 : 補助金の額の確定
令和7年4月23日 : 補助金の交付(支払い)

補助対象事業費 : 1, 953, 003, 429円
補助金交付額 : 502, 000, 000円

令和6年度予算

次年度へ繰越し

※浅草駅の整備事業は完了したが、新線建設等東京地下鉄の他の事業で完了していないものがあるため、繰越となっている(交付決定事業の全事業が完了しないと額の確定を行えない)